



実践事例

足立区立東栗原小学校

基本情報

- 導入学年 小学1年～3年
- 学級形態 通常学級
- 導入時期 2023年4月～
- 活用場面 朝学習、授業の最後、宿題
- 予算形態 保護者負担(教材費)



伊地知 広竹 校長

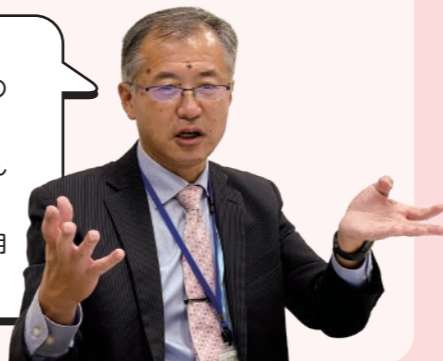
Q なぜ導入しようと思ったのですか？

A 足立区では、学力向上という施策があり朝学習の時間にプリント学習を奨励しています。しかし、入学当初の1年生は計算や漢字などの学習に取り組むことが困難であるため、何か別のものをやりたいと思い、これまでは紙ベースでのコグトレを行ってききました。一方で、教師側で印刷等の準備をするのが大変でした。そのような時に、コグトレオンラインに出会い、導入することになりました。当初は1年生だけだと思っていましたが、校内で話し合った結果、2年生や3年生も導入に興味があったため、現在は1～3年生で活用しています。



Q 学力向上に対して、課題に思っていることはありますか？

A 学力向上として、国語の読み取り、漢字、あるいは計算する力以前の認知の部分に課題があると感じています。先生が話をしている際に注意を向けたり、集中して何かに取り組んだりすることが苦手だと感じている子が今は多くいます。認知の力をコグトレオンラインの取り組みによって身につけて欲しいと思い、活用しています。



活用の流れ

1 開始の合図



先生の合図でタブレットを開き、コグトレオンラインを開始します。

2 個人トレーニング



個々に集中して自由にトレーニングをします。困っている児童には先生が個別にサポートします。

3 振り返り



やってみてどうだったかクラス全体で振り返ります。

Q コグトレオンラインを活用する子どもたちの様子はどうですか？



江田 先生(1年1組担任)
江田先生のおすすめ:
見て覚える 聞いて覚える

A 1年生ですから、日頃から元気の良い子どもたちです。ただ、コグトレオンラインをやっている間は、「コグトレ対自分」の世界に入っているのが非常に集中して、楽しく取り組んでいる様子が見受けられます。

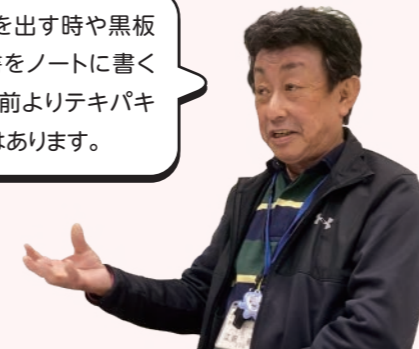
松本 先生(1年2組担任)
松本先生のおすすめ:
見つける 聞いて覚える



A コグトレオンラインをしている時はものすごく集中しています。また、点数が伸びた時は「やった!」といった声が聞こえてきて、子どもたち同士でも切磋琢磨しながら楽しんでやってくれています。

Q 活用してみて子どもたちの成長や保護者の反応はどうですか？

A ノートを出す時や黒板の板書をノートに書く時の動作が以前よりテキパキしてきた感覚はあります。



A 保護者の反応もとても良いです。個人面談でも「子どもが集中する時間が設けられて良い」や「イライラすることが少なくなった」といった声を保護者からもらいました。



Q 以前実施していた紙のコグトレとは何が違いますか？

A 決定的に違うのは教員側の労力です。紙で実施していたときは、教員側で印刷等の準備をしなければならず、紙をストックするのも大変でした。デジタルだと既にアプリケーションに問題が入っているので、非常に助かっています。

Q 1年生が活用していますが、難しさはありましたか？

A 全く問題なかったです。コグトレオンラインの冒頭の説明が、とてもわかりやすく設計されているので直感的に楽しく使うことができている。



Q 今後どのように使っていきたいですか？

A 今年度初めてコグトレオンラインを導入しましたが、タブレットを使い始める1年生から使えるサービスなので、継続して使っていくことで認知機能を高めることができるのではないかなと思っています。今後も継続して使っていきたいです。

